

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【科学的な見方や考え方】

さまざまな事物・現象に対して、比較や分類、観察を通して本質を探る力を育てる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 計算や応用問題が苦手な生徒が多い。 学んだときは覚えているが、次の時間には忘れてしまう生徒もいる。 実験は好きだが、実験結果からどのようなことが分かったのかを考えることが苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 前の時間に学んだことを復習する。 演習問題でわからないところを教えあう時間を作る。 授業時間中に重要語句を書いて覚える時間を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題に苦手意識をもつ生徒がいる。 実験結果をまとめ、自分の考えをまとめることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 演習時間を確保する。 レポート課題をだし、自分の考えをまとめる作業を行い、適切に評価する。 単元がおわるごとに、小テストを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果をまとめ、考察することが苦手である。 学んだ知識を活用し、問題を解くことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 演習時間を確保する。 レポート課題をだし、自分の考えをまとめる作業を行い、適切に評価する。 単元が終わるごとに、小テストを実施する。 適切な課題を設け、家庭学習の充実を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 実験結果をもとに少人数で話し合い考えを深める。
- 2年 実験結果をもとに少人数で話し合い考えを深める。
- 3年 実験結果をもとに少人数で話し合い考えを深める。

■小中一貫教育共通プログラムに関連して

- 1年 授業中心の振り返りと宿題の提示
- 2年 授業中心の振り返りと宿題の提示
- 3年 授業中心の振り返りと宿題の提示